

流川のカツパくん

第5話 作:ミルルべっふ
「弓掛けの松」



「弓掛けの松」

平安時代
別府羽室台の丘の上

雄城台高校の中には、
為朝を祀った雄城神社があり、
霊山に住む鬼と技を競った
矢跡石等があります

湯布院塚原には
為朝が一刀両断
したと言われる
二刀岩があります

大分県にはいろいろある所に
為朝伝説が残っています
別府羽室台高校があった山は
為朝の住居跡と言われています
県指定の史跡で「御霊社」があります

この人の名は、鎮西八郡為朝
身の丈2mを超える強弓の使い手で
平安時代最強の武将と言われた人でした
あの源朝朝・源義経のおじさんです

あまりの強さと轟れっぷりで親から豊後の
国々分懸に追放されます
その後も暮れまわりわずか3年で九州を
制したと言われています

先程撃たのは
お餅
でしたか
お餅
の
お餅
の
お餅
の
お餅
の

今も地元には地名として残っています
弓を置いた「弓ヶ浜」
的を置いた「的ヶ浜」
漢美の餅を食ったと言われる、「餅ヶ浜」です

的ヶ浜公園内にこのことを書いた石碑があります

そして、別府市 流川通りの近くには
弓掛けの松の伝説があります

その強弓を掛けた松を「弓掛けの松」と呼びます
現在は枯れてありませんが、昭和初期の
町の地図にはその名前が載っています
別府市立北小学校(現在は「ヌスモピア」という
商業施設の駐車場になっています)の
校庭の北側にあり、当時の子供たちも
松の話の先生に聞いて覚えていました

大正11年に開院宮載仁親王に御召列車から
弓掛けの松を見ていただいた記述があるので
その頃にはまだ松はあったようです

弓掛けの松のあった同じ場所には、
新しく松が植えられています

知らないところで、商業施設の駐車場の
一角に松がとんでしようが、
興味深い歴史が奥には隠れています

江戸時代に書かれた蒲沢馬場の
「権説弓道目」(ちんせつ ゆみはりづき)で
源為朝は有名になりました

他にも源為朝が書かれたお話や伝説は
いろいろあります